序文



京都医療センターのアニュアルレポート令和2年度版をお届けいたします。

この年度、新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、日本では2回の緊急事態宣言(京都では4月16日~5月25日、令和3年1月13日~3月21日)が発令されました。病院では病床や医療物資が不足し、社会では新しい生活様式としてのテレワークや「3密」の回避が広まり、スポーツ界では試合の中止や延期が相次ぎました。9月16日には菅義偉総裁が安倍首相の後任として第99代首相に就任しました。将棋界では藤井聡太七段が7月に棋聖、8月に王位を獲得し、史上初の10代二冠を達成しました。12月には小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから帰還し、日本の宇宙探査の技術力を世界に知らしめました。海外では、香港で6月30日に国家安全維持法が施行、一国二制度の下での高度な自治は形骸化して民主活動家が逮捕されました。ミャンマーでは2月の軍事クーデターによりスー・チー国家主席が再び軟禁されました。またアメリカでは大統領選挙でバイデン前副大統領がトランプ大統領に勝利し、1月に第46代大統領に就任しました。

当院では軽症から重症のコロナ患者さんの診療を積極的に行うため、4月に1-8コロナ病棟整備(自動ドアと監視カメラ設置、シャワー室整備等)、外来患者隔離室(1階発熱外来)設置、7月に陰圧化設備設置(1-8病棟、救命救急センターHCU、外来患者隔離室)、PCR検査機器等整備、8月に病院入口サーモグラフィーカメラ設置、外来受付時間の変更、2月に紫外線照射照明設置を行いました。職員の新型コロナワクチン先行接種は2月3月に行われました。働き方改革に対する取組みとしては、会議・委員会の見直し、時間外業務の変更(内科当直と外科当直の一本化など)、電子カルテ(内視鏡を含む)音声入力システム導入を行いました。また7月に外来採血室新システム導入、9月にMRI-超音波融合画像診断システム「Biojet」導入、12月に薬剤部アンプルピッカー設置、1月に眼科OCTアンギオ装置設置、3月には外来トイレ全面改修を行いました。一方、令和2年度の経営は新型コロナウイルス流行のため非常に厳しく、医業収支は13億9千万円の赤字、経常収支は4億5千万円の黒字でした。

当センターがこの街の医療をささえる病院として十分に役立っていくためには、職員一同の日々の研鑽に加えて地域の皆さまのご支援が必要です。今後も益々ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長小池薫